

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

日本は 5 年以内に財政破綻の危機 ジャック・アタリ (経済学者・元欧州復興開発銀行総裁)

1. 日本は約 20 年前に経済・財政の危機へ突入しました。現在の状況は他国よりも深刻です。というのは、危機常態化し、より悪化しているからです。日本は勇気を持って対処すれば、危機を解決できたはず。だが、そうすることができなかった。カナダとスウェーデンも、日本と同時期に危機に見舞われましたが、両国は見事に脱出しました。カナダは歳出を大幅に削減。スウェーデンは困難な状況にある銀行を国有化し、増税にも踏み切りました。今は両国とも危機に瀕していません。
2. 日本は米国やフランスにない少子高齢化の問題も抱えています。日本がこのまま手を打たないと、おそらく 10 年を待たずに破綻するでしょう。やがて貯蓄だけでは公的債務を賄い切れなくなる。破綻に陥るまでの期間は向う 5 年以内。だが、5 年以内に起きるのが不可避の事象であると予測できた場合、実際には 2 年以内に起こる。それが歴史の教えるところです。
3. この危機の深化を回避するためには、人口問題に関する長期的視野からの政策を導入すべきです。並行して少なくとも向こう 3 年は歳出を大幅に削減しなければなりません。年率 10% 台のカットです。同時に税金を増やさなければならないのは論をまたないところ。増税は 3 年をタイムリミットに実行。いったん結果を見たうえで、維持あるいは存続の是非を検討する。こうしたプロセスを実施に移せば、債務危機は乗り越えられます。  
(参考:「週刊東洋経済」2011 年 2 月 12 日号)

## 経営者のための理念・哲学

すべての仕事に共通する普通の法則

1. 昨年 10 月、ノーベル化学賞を受賞された根岸英一さんが、長年の体験からつかまれた発見プロセスを次のように説明した。発見はまず、こういうものが欲しい、こうなったらいいという「ニーズ」「願望」が出発点である。そのニーズや願望を達成するために「作戦」を練る。この作戦でいこうと決めたら、それに沿う方向で「系統立った探求」を始める。この系統立った探求が難物である。
2. 途中で、もうやめようか、と迷う瞬間が何度もある。失敗が続き、こんなことをやっても無駄だ、と思う時がある。その時、「いや、絶対に屈しない。これでいくんだ」と思い続けられるかどうか。そう思い続けるには、「知識」「アイデア」「判断力」が要る。この三つが不屈の「意志力」「行動力」を生む基になる。これらの難関をくぐり抜けて「幸運な発見」が生まれる、というものである。この発見プロセスはあらゆる仕事に共通した普通の法則である。  
(参考:「致知」:2011 年 5 月号)

## 海外事情

名前はわかりやすく (英国)

1. イングランド、ウェールズで 2009 年に生まれた男の子に最も多く付けられた名前はオリバーだった。2 位はジャック、3 位ハリーだ。女の子は 1 位オリビア、2 位ルビー、3 位クロエである (英国立統計局調査)。日本と対照的に、英国の両親は、わかりやすく、呼びやすい名前を付けたがる。そのほうが社会に出たときにメリットがあると信じられている。
2. 男の子の 16 位に Mohammed、36 位に Muhammad 62 位 Mohammad 等、スペル違いで 12 のモハメッドがランクに載っている。いかに英国にイスラム系の人びとが大勢暮らしているかがわかれる。Mohammed については、ロンドンで 4 位、西ミッドランドでは 1 位だ。  
(参考:「週刊ダイヤモンド」2011 年 2 月 12 日号)

## 古典に学ぶ

リスクの分散を考えよ

「狡兎は三窟ありて、わずかにその死を免るるを得るのみ」

(訳)「狡兎」とは賢い兎のことです。ですから、「賢い兎は自分の穴を三つ掘っておくので、危険が迫っても、なんとか生きのびていくことができる」こんな意味になるかと思えます。この言葉は「戦国策」という古典に出てくるのですが、中国では昔から「狡兎三窟」の四字句で使われてきました。すなわち、リスクの分散の思想に他なりません。(参考:守屋 洋「リーダーのための中国古典」:日経ビジネス人文庫)